



トレイン趣味 JR琵琶湖線 2

取扱説明書

- 【制作者】 トレイン趣味
- 【リリース日】 2024年7月21日 Ver.1.0.1
- 【開発言語】 Microsoft VisualStudio2022(Visual C#)
- 【種別】 フリーソフトウェア
- 【動作OS】 Windows 11 バージョン 23H2 64ビット版,
Windows 10 バージョン 22H2 64ビット版
※.NET Framework 4.8 が必要です。
- 【推奨環境】 メモリ 4GB 以上、CPU Intel Core i5-2520M 相当以上

1. ソフトの内容 (特長)

「トレイン趣味 JR琵琶湖線 2」をダウンロードいただき、ありがとうございます。
実写映像を用いた電車運転シミュレーター (フリーソフト) です。主に次の特長があります。

・ 駅間が比較的長く高速での運転ができる琵琶湖線の第2弾。223系新快速によるMax130km/h運転を楽しめます。

運転区間：

- (1)223系普通 河瀬～彦根
- (2)223系新快速 近江八幡～能登川
- (3)223系普通 野洲～米原 (ボーナス)
- (4)223系新快速 野洲～米原 (ボーナス)

※(3)(4)のボーナスダイヤは、攻略状況により選択できるようになります。

- ・ 運転後に得点・評価を表示します。全ダイヤ金メダルを目指していざ出発進行！
全区間：野洲—篠原—近江八幡—安土—能登川—稲枝—河瀬—南彦根—彦根—米原
- ・ (1)(2)にはナビゲーション表示機能を搭載。操作内容を指示し、運転をアシストします。
- ・ 速度計・圧力計・時計・戸閉灯を運転台パネルに表示。ATS、EB装置など保安装置もできるだけ忠実に再現。リアルで緊張感ある運転を楽しめます。
- ・ 「キーの割り当て」設定を変更することにより、JR EAST Train Simulator や BVE に準拠した操作もできます。マスコン・ブレーキ操作はマウスホイールでも可能です。
- ・ Master Controller for Train Simulator (ポニーキャニオン・1998年発売)、Master Controller II for Train Simulator (ポニーキャニオン・1999年発売) に対応。

2. インストール/アンインストール

○ソフトの起動

・本ソフトを快適に動作できる PC 環境はメモリ 4GB、CPU Intel Core i5-2520M 相当以上が目安です。これよりもスペックが低い PC でも動作しますが、走行映像の再生がスムーズにできない可能性があります。

・trainshumi.exe（電車アイコンで表示された trainshumi というファイル）をダブルクリックなどで実行してください。

※実行時に.NET Framework のインストールを求められた場合は、指示に従ってインストールし、再度 trainshumi.exe を起動してください。

【注記】起動する前に、負荷のかかるアプリケーションは全て終了してください。走行映像や音声は正常に再生できないことがあります。

【注記】展開フォルダ内にある trainshumi.exe と movie フォルダ・sound フォルダ・image フォルダ間の位置関係を変更したり、ファイル名を変更したりすると、ソフトが正常に動作しませんのでご注意ください。

・trainshumi.exe をダブルクリックした際に、Windows の仕様上セキュリティ警告が表示され起動できない場合があります。ダウンロードした zip ファイルを右クリック→プロパティで全般タブを選択し、セキュリティの「許可する」チェックボックスを ON にしてから展開してください。

・本ソフトをプレイするには 1280×800 ピクセル以上の解像度が必要です。ディスプレイ設定の拡大率を 125%や 150%などに設定すると、より大きく表示することができますが、画面下側が切れる場合があります。

・本ソフトは PC の SSD、eMMC、HDD 等に保存して実行してください。USB メモリー、SD カード等外部媒体に保存した状態で本ソフトを実行すると、正常に動作しない場合があります。

○アンインストール

インストールしたフォルダごと削除してください。レジストリは使用していません。

3. 操作方法

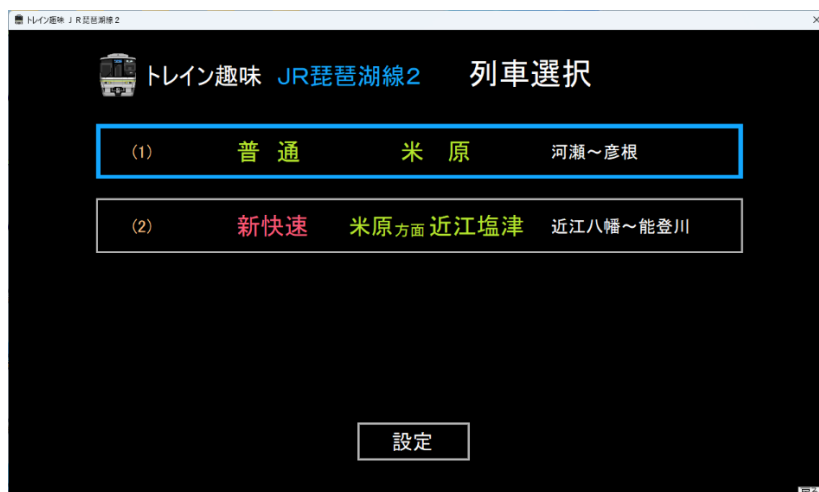
選択・決定や運転操作は全てキーボードで行います。ただし、選択・決定など一部操作はマウスクリックでも可能です。(以下キーボード操作を基本に説明します。)

○タイトル画面



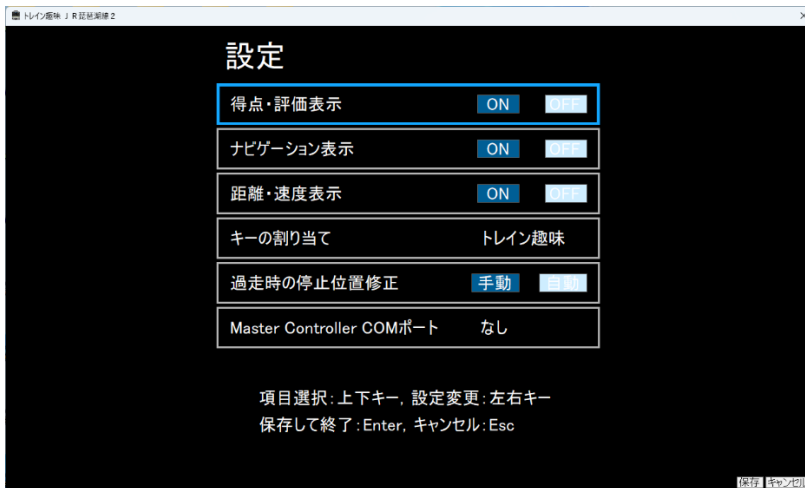
- ・「←」「→」キーで「運転開始」を選択して、「Enter」キーを押すと、列車選択画面に進みます。
- ・「終了」を選択して「Enter」キーを押すと、本ソフトを終了します。

○列車選択画面



- ・「↓」「↑」キーで列車を選択して、「Enter」キーを押すと、運転画面に進みます。
- ※攻略状況により、選択可能な列車が異なります。
- ・選択されている列車は青枠で囲んでいます。
- ・「設定」を選択して「Enter」キーを押すと、設定画面に進みます。
- ・「Esc」キーを押すと、タイトル画面へ戻ります。

○設定画面



- ・「↓」「↑」キーで項目を選択し、「←」「→」キーで設定変更します。
- ・「Enter」キーを押すと保存して終了します。「Esc」キーを押すと保存せずに終了します。
- ・項目のマウスクリックで項目選択、ホイール↑↓により設定変更することも可能です。

- ・得点・評価表示
ON：得点を表示し、運転後に金銀銅メダルを表示します。
OFF：得点と金銀銅メダルを表示しません。
※OFFは運転の練習などに活用してください。得点・評価を出さないため、上手に運転しても運転区間は増えません。
- ・ナビゲーション表示
ON：運転操作を指示するナビゲーションを表示します（(1)(2)の運転区間のみ）。
OFF：ナビゲーションを表示しません。
- ・距離・速度表示
ON：次停車駅までの距離・速度を常に表示します。
OFF：停止位置範囲内の場合に距離のみを表示します。
- ・キーの割り当て
トレイン趣味：従来からのトレイン趣味での操作方法
JRE TS/BVE：JR EAST Train SimulatorやBVEに準拠した操作方法。
- ・過走時の停止位置修正
手動：自分でレバーサを「後」に切り替えて電車を後退させます。
自動：「停止位置を修正します」のメッセージが出て自動的に修正します（修正に必要な時間を加算します）。
- ・Master Controller COMポート
ポニーキャニオン社製 Master Controller for Train Simulator、Master Controller II for Train Simulatorを使用する際のCOMポート番号

○運転画面



【注記】 走行映像が真っ白又は真っ黒など正しく表示されない場合、Esc ボタンで運転を中断し、列車選択画面に戻って選びなおしてください。

【運転の大まかな流れ】

- ・ 扉が閉まり、戸閉め灯が点灯し、ブザーが聞こえたら、ブレーキを解除、マスコンを投入します。
- ・ ある程度の速度に達したら、マスコンを OFF します。(ナビゲーション機能を参考にしてください)
- ・ 停車駅が近づいてきたとき、速度制限・信号現示に応じて減速するときは、ブレーキをかけます。
- ・ マスコンは P1～P5 の 5 段です。ブレーキは抑速・B1～B7 の常用 7 段と非常ブレーキです。
- ・ 停止位置の ±3m 以内で停車できるように、ブレーキを調整します。(基本的には B4→B2→B1 のようにブレーキを緩めてください。)
- ・ 正しい停止位置 (±3m 以内) で停車すると自動的に扉が開きます。

ナビゲーション表示を ON に設定している場合、(1) 普通 河瀬～彦根・(2) 新快速 近江八幡～能登川では、画面右側にナビゲーションを表示し、運転の流れをより詳しく指示します。

【「トレイン趣味」方式でのキーの割り当て】

- ・ 「↓」「↑」: マスコン
- ・ 「→」「←」: ブレーキ
- ・ 「←」: マスコン投入時、直ちにマスコン OFF
- ・ 「スペース」「Z」: 警笛 (ミュージックホーン)
- ・ 「X」: 警笛 (ミュージックホーン+空笛)

- ・「F」：レバーサ前進
- ・「N」：レバーサ切
- ・「B」：レバーサ後進
- ・「Enter」：EB リセット、ATS 確認
- ・「S」：ATS 警報持続（ATS チャイム消し）
- ・「H」：定速機能 ON

【「JRE TS/BVE」方式でのキーの割り当て】

- ・「Z」「A」：マスコン
- ・「S」：マスコン投入時、直ちにマスコン OFF
- ・「.」「,」：ブレーキ
- ・「M」：ブレーキ投入時、直ちにブレーキ OFF
- ・「/」：非常ブレーキ
- ・「Enter」：警笛（ミュージックホーン）
- ・「Back」：警笛（ミュージックホーン+空笛）
- ・「↑」：レバーサ 切→前進、後進→切
- ・「↓」：レバーサ 前進→切、切→後進
- ・「E」：EB リセット
- ・「Space」：ATS 確認
- ・「X」：ATS 警報持続（ATS チャイム消し）
- ・「W」：定速機能 ON

【マウスを使用した運転操作】 マスコン・ブレーキのみ可能です。

- ・ホイール↑↓：ブレーキ・マスコン
- ・ホイールクリック：マスコン・ブレーキ投入時、直ちに OFF

停止位置を過ぎてしまった場合（-3m よりも先に進んでしまった場合）：

- ・過走時の停止位置修正が「手動」の場合

ブレーキをかけて停止した状態で、後進に切り替えて停止位置範囲内まで後退させてください。

前進・後進は停車中（0km/h）でブレーキをかけた状態の時に切り替えるようにしましょう。

- ・過走時の停止位置修正が「自動」の場合

「停止位置を修正します。」というメッセージが表示されるので、「Enter」キーを押してください。

停止位置修正にかかる時間を時刻に加算し、自動で所定停止位置に修正します。

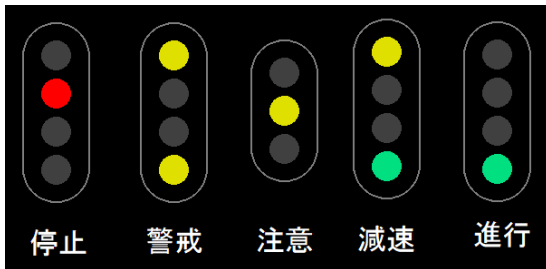
運転の中断：

- ・運転画面で「Esc」キーを押すと、運転を一時中断（ポーズ）できます。「運転を中止してもよろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。

- ・「←」「→」キーで「いいえ」を選択し「Enter」キーを押すと、中断時の状態から運転を再開します。

・「←」「→」キーで「はい」を選択し「Enter」キーを押すと、運転を中止して列車選択画面へ戻ります。

○信号機



信号は視認できた時点で最大 3 つ先まで表示します。速度制限がある場合、信号機通過までに減速してください。

左から順に、「停止」「警戒」「注意」「減速」「進行」現示を表します。

・停止：この信号から先に進んではいけません。信号手前で停車してください。

・警戒：25km/h 以下の速度で進入してください。

・注意：55km/h 以下の速度で進入してください。

・減速：75km/h 以下の速度で進入してください。

・進行：信号による速度制限はありません。

(路線最高速度は新快速 130km/h、普通 120km/h)



中継信号機

停止 制限 進行

この先の信号機の状態を表します。「制限」は前方信号が減速・注意・警戒信号のいずれかであることを表しています。

○ATS 確認

停止信号が近づくと ATS ベルが鳴ります。ATS ベルが鳴ったら、5 秒以内にブレーキを BI 以上にして「Enter」キーを押してください。これによりブザー音（ジリリリ…）がチャイム音（キンコンキンコン…）に変わります。ブザーがチャイム音に変わったらブレーキを解除することができます。5 秒以内に完了できなかった場合は ATS 非常ブレーキが作動して一旦停車させられます。

駅に停車した、もしくは前方の信号が上がれば、「S」キーを押してチャイムを消すことができます。

○OEB ブザー

1 分間無操作の場合、EB ブザーが鳴り、運転画面右下に「EB」と表示されます。5 秒以内に EB リセット操作をしてください（操作方法は上記キー割り当て参照）。マスコン・ブレーキを操作するか警笛を鳴らしても EB リセット可能です。

5 秒以内に EB リセットできなかった場合は非常ブレーキが作動して一旦停車させられます。

※EB ブザーは、運転士の急病や居眠りなどにより正常な運転ができないまま走行することを避けるために設けられています。EB は Emergency Brake（緊急ブレーキ）の略です。

○定速機能と抑速ブレーキ

・定速機能

マスコンを投入すると速度が上がっていきませんが、定速機能を ON することによって、その時点の速

度で固定し、速度の上昇を抑えます。例えば 130km/h で速度を固定する場合などに使用します。定速機能を ON にするには、**マスコン投入時、40km/h 以上で「H」キーを押します**。定速機能 ON 時は、速度表示右上に**定速**と表示されます。定速機能を解除するにはマスコンを OFF してください。

・抑速ブレーキ

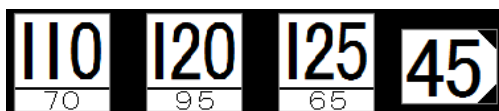
下り坂で速度上昇を抑えるために使用します。ブレーキをかけると、**抑速ブレーキ・B1・B2・～・B7・非常ブレーキ**の順となります。40km/h 以上で抑速が機能します。

○速度制限

カーブ・ポイント通過に伴う速度制限は、走行映像の左下または右下付近に表示されます。点滅は速度制限の予告で、点滅が終わって点灯表示されると速度制限がかかります。

速度制限表示が消えるまで、もしくは制限解除標識が消えるまで速度制限が続きます。

同時に 2 つの速度制限が表示されている場合は、**低い方の速度に従ってください。**



速度制限標識



制限解除標識

○得点結果表示

次の仕様で加点・減点し、運転中に画面右下に得点を表示します。

全区間運転終了時にはポップアップで得点結果と評価を表示します。「Enter」キーを押すことで列車選択画面に戻ります。



次の仕様で加点・減点し、運転中も画面右下に表示します。

(1)停止位置

±0.5m 以内	±1m 以内	±2m 以内	±3m 以内
+20 点	+15 点	+10 点	+5 点

※オーバーランした場合は当該駅での停止位置による加点はなく、**2点減点**となります。

(2) 到着時刻・通過時刻

±5 秒以内	±15 秒以内	±30 秒以内	±60 秒以内
+20 点	+15 点	+10 点	+5 点

(3) 停車時衝動

停車時のブレーキ圧で判定します。※オーバーランした場合の加点はありません。

減速度 1.4km/h/s 未満 (B1 相当以下)	減速度 2.4km/h/s 未満 (B3 相当以下)
+10 点	+5 点

(4) 速度制限超過

速度制限標識に表示の速度より 5km/h 以上超過した場合は、1 秒につき 2 点ずつ減点します。

信号機において減速・注意・警戒現示の場合、速度超過による減点はありません。

(5) ATS、EB による非常ブレーキ作動

ATS ベルが鳴り 5 秒以内に ATS 確認できなかった場合、又は EB ブザーを 5 秒以内にリセットできなかった場合、非常ブレーキが作動し一旦停車するまでの間、1 秒につき 2 点ずつ減点します。

○評価基準

得点に応じて、「金メダル獲得」（満点の場合は「優秀運転士」）、「銀メダル獲得」、「銅メダル獲得」を評価・判定します。

【注記】「金メダル獲得」以上の評価を得るには、所定の点数以上を獲得したうえで、速度超過、非常ブレーキ作動及び停車駅オーバーランの減点がないことが条件となります。

運転ダイヤ	満点	金メダル	銀メダル
(1)普通 河瀬～彦根	100 点	75 点以上	50 点以上
(2)新快速 近江八幡～能登川	70 点	60 点以上	45 点以上
(3)普通 野洲～米原 (ボーナス)	450 点	385 点以上	295 点以上
(4)新快速 野洲～米原 (ボーナス)	240 点	220 点以上	170 点以上

※プレイ当初は(1)(2)のみ運転できるように設計されており、攻略状況に応じ(3)(4)が運転できるようになります。

(3)は(1)(2)で銀メダル以上の評価を獲得すると出現します。(4)は(1)(2)(3)全てで金メダル以上の評価を獲得すると出現します。

列車選択画面で「R」キーを押すことにより、選択したダイヤの自己最高得点・評価を確認することができます。

例：(1)のダイヤを選択した状態で「R」キーを押した場合



さらに、全てのダイヤで金メダル以上を獲得すると「**全ダイヤ金メダル**」、全てのダイヤで優秀運転士を獲得すると「**全ダイヤ優秀**」が列車選択画面右上に表示されます。作者からの感謝と敬意を表します。

○コントローラーでの操作

Master Controller for Train Simulator (ポニーキャニオン・1998年発売)、Master Controller II for Train Simulator (ポニーキャニオン・1999年発売)を使用できます。

- ・お使いのPCにシリアルポートがない場合は、市販のUSB-シリアル変換ケーブルをご使用ください。動作は、REX-USB60F(ラトックシステム)で確認しております。
※PC環境によっては正常に動作しない場合があります。
 - ・使用可能なシリアルポートがある場合、設定画面で使用するシリアルポート(COM番号)を選択できます。
※使用可能なCOM番号が1つもない場合はデバイスマネージャを確認してください。
 - ・Master Controller for Train Simulatorを使用する時、**ノッチギアはGtype(力行5段、ブレーキ7段)**にしてください。
 - ・Master Controller II for Train Simulatorを使用する時、**マスコン段数は「5」、ブレーキ段数は「7」**に設定してください。
 - ・運転画面以外の画面での各ボタンの機能：
 - ・ブレーキ操作…選択
 - ・Aボタン、Sボタン、フットスイッチ…決定(Enterキーと同じ)
 - ・Cボタン…一画面戻る(Escキーと同じ)
 - ・A、Bボタン…列車選択画面で運転記録表示
 ※設定画面ではコントローラーを使用できません。
 - ・運転画面での各ボタンの機能：
 - ・Aボタン、フットスイッチ…警笛(ミュージックホーン)
 - ・Bボタン…警笛(ミュージックホーン+空笛)
 - ・Sボタン…EBリセット、ATS確認、ATS警報持続(ATSCハインム消し)
 - ・Cボタン…運転中止・中断(Escキーと同じ)
 - ・本作品では、コントローラーは定速、抑速ブレーキに対応していません。
- ※三鷹重工OHC-PC01A、及び電車でGO!用のコントローラー等、他の市販コントローラーに対応する予定は今のところありません。

※イベントに出展しておりますコントローラー（JR221系・JR321系運転台）は、じゃりちゃん鉄道様が製作されたもので市販されておられません。

○お知らせ

- ・走行映像は営業列車で撮影しています。駅の発車直後に映像が多少不自然に見える場合があります。ご了承ください。走行映像は2021年3月に撮影したものです。
- ・本作品で採用しているダイヤは2021年3月時点のもので、最新のダイヤと異なる場合があります。

4. 著作権など

「トレイン趣味 JR琵琶湖線2」はフリーソフトウェアですが、著作権は作者「トレイン趣味」が所有します。

- ・列車アイコンは curoka 様制作のものを、許可を得て使用しております。
- ・自動放送は μ'Wing 様の録音データをお借りして使用しています。(申請済)
<https://www.youtube.com/watch?v=6bEckzvTI5c>
- ・当ソフトを使用したことにより万一生じた損害に対して、作者はその責任を負いません。使用は個人の責任で行ってくださいますようお願いいたします。
- ・作者は、バグ修正及びサポートの義務を負わないものとします。(ただし、できる限り行いたいと思いますのでメールをいただければと思います。)
- ・本ソフトを雑誌などの媒体へ転載する場合は、メールにて必ず作者の了解を得てください。
- ・本ソフトを各種イベントや文化祭・学園祭などで展示・出展をご希望の場合は、メールにて必ず作者に事前にご相談ください。
- ・バグのご連絡や、お問い合わせ・改善などのご要望・作品のご感想はメールにてお聞かせください。今後のソフト制作に活用させていただきます。

メール宛先：トレイン趣味 kochan36gameroom@gmail.com

【注記】メールを送る際には、最低限のマナーを守ってください。

不具合のご報告の場合は、的確な回答をさせていただくためにも、PC環境や不具合発生手順をできるだけ詳細に記載いただきますようお願いいたします。

- ・本ソフトの仕様は予告なく変更することがあります。
- ・この取扱説明書に記載されている会社名及び製品名（Windows等）は、各社の商標または登録商標です。
- ・本作品及び作者と鉄道会社は一切関係ありません。本作品に関する鉄道会社へのお問い合わせはご遠慮ください。

5. 更新履歴

2024年7月21日 Ver.1.0.1

運転中、一時停止し再開した時に、不要な時にEBブザーが鳴る場合がある不具合を修正しました。

2024年7月13日 Ver.1.0.0

正式版をリリースしました。

以上